

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			・適切ではあるが利用人数によって狭いと感じる事がある。しかし、利用者同士の交流が自然と生まれて良いと思う。 ・療育スペースと勉強スペースを分けてい
	2	職員の配置数は適切であるか	8			利用人数に合わせ、職員を配置している。(2.5人に対し指導員1人)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	5	2階の為、昇降時には指導員が付き添いや見守りを行い安全面を考慮している。教室内ではできる限り段差が少なくなるよう努力
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			問題点や改善点をその都度話し合う場を設け、全指導員が統一した支援を行うよう努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			アンケート調査を行い、結果を元に療育の見直しや新たな活動に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		2	6	3月までに公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			8	今のところ行ってないが、必要であれば検討する。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			研修には積極的に参加している。また、研修内容を全指導員に報告し、意見や理解に努めている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			ご家族に会った時やサービス提供記録等でニーズや課題をきちんと話し合い、意向に沿うような計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2		アセスメントツールは標準化されていないが、家庭・学校・事業所等関係機関と連携を密に行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			年度ごとに全指導員で活動内容の見直しや改善に努めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			・利用者に合わせて柔軟に対応している。 ・季節に合わせた行事や、制作を取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		・その日の利用者に応じて、課題を決め支援を行っている。また、個別支援計画に応じて行っている。 ・休日等は地域の催し物に参加する事が多く、予定通りに行かない事がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・利用者の体調を考慮しながら、少しでも参加できるように支援を行っている。 ・必要な支援を中心に個別活動・集団活動をバランスよく活動できるよう作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			支援開始前には必ずミーティングを行い、情報を共有している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		3	・終了後は行う事ができないが前日のことも含め、情報の共有をしている。 ・サービス提供記録に細かく記載し、いつでも振り返れるようにしている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			サービス提供記録を細かく記載し、検証・改善に努めている。また、日々の中で課題等をまとめ話し合いを行っている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断して	8			半年ごとに見直しを行い、利用者の状況に合わせて判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8			日常動作訓練や地域交流の機会を積極的に提供している。また、バランス良く組み合わせ、利用者が成長できるよう支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			管理者と指導員2人体制で参加し、情報提供、他事業所との情報共有を行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			・学校行事にはすすんで参加し、迎えに行った際には話をして情報交換を行っている。 ・送迎での連絡調整や緊急時にはその場でご家族に連絡を取っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えて	1	5	2	現在医療的ケアが必要な利用者はいないが、かかりつけ医や、連絡先を把握してい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		6	2	・就学前の状況等については、現在保護者から聞き取りをしている。 ・毎月だよりや活動予定表を配布し、保育園や児童発達支援事業所等に情報提供をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		7	1	・移行実績が少ない。 ・移行する事業所から情報提供の要請があった場合は、保護者の承諾を得た上で行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4		・研修等があれば参加し活用していきたい。 ・相談支援専門員との連携に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	4		・直接的な活動は行っていないが、地域の催し物や公園等に積極的に参加し、交流を図るようにしている。(学校休業日、土曜日)
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8			・守谷市障がい福祉サービス事業所連絡協議会へ役員選出している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			サービス提供記録や送迎時に直接お話しし、共通理解を持ち支援を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	1	事業所での対応方法(成功例)等を保護者に伝えている。また、保護者から学ぶことも多い。
保護者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			見学時に説明を行い、契約時には細かく読み合わせを行っている。また分からない事等、その都度質問できる時間を設けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			保護者の意見に寄り添い親身になって耳を傾け、必要に応じて助言・支援を行っている。 ・様子を観察し対応方法等、家庭との情報を
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	6	現在行ってはいないが、保護者からの要望等踏まえ検討していく。

への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・苦情の窓口を設置し、契約時に説明している。また、迅速かつ適切に対応できるよう、苦情解決マニュアルを作成している。 ・信頼関係を築けるよう日頃から、コミュニケーションを図っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			毎月だよりや、活動予定表を各家庭へ配布している。また、フェイスブックでも日々の活動を公開している。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			個人情報の取り扱いには、細心の注意を払うよう指導している。また、フェイスブック等では、個人が特定されないよう配慮している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			利用者に合わせて、意思疎通(絵カード・ジェスチャー等)を図れるよう対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか			8	現在事業所としては行っていないが、地域の行事等には積極的に参加している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	2	・マニュアルを作成し、事業所内では共有しているが保護者への周知には至っていない。今後保護者向けのマニュアル策定を検討する。 ・緊急時や感染症の疑いがある場合は、保護者への連絡を行い迅速に対応し、マスク着用や消毒等徹底して行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			1年に2回、災害時に備え訓練を行っている。今後活動予定表に実施日を記載し保護者への周知に努める。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		・研修機会は少ないが、内容を事業所内で共有し話し合いを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2		現在拘束を行う事例はないが、安全面を考慮しやむを得ず行った場合は、サービス提供記録や保護者への報告を行う。また、契約時にも説明をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	1	現在該当者はいないが、契約時にアセスメントを行いアレルギーの有無等の確認を行っている。該当者を受け入れる場合は指示書に基づく対応をしていく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			事案発生後、迅速に作成を行い情報を共有し、再発防止に努めている。	